

FAIRPLAY NEWS

2015年
2月23日号

フェアプレイ大賞決定!

フェア
プレイ
ストーリー

1 **いい話だなあ**
「正々くんもみなら見習わなきゃ」

2 **エッ!?**
「ところでフェアプレイ大賞ってなに?」

3 **ほら、募集してたじゃない。忘れちゃったの?**

4 **あっ! そうだった。ボクも応募しようと思ってたんだけど...**
「残念ながらフェアプレイが見つからなかったのよね。」

5 **でも全国みんなからは、たくさんのフェアプレイストーリーが届けられました!**

6 **そして選考委員会で相談して**

選考委員長
宇津木妙子さん
元ソフトボール日本代表監督

特別選考委員
為末大さん
元プロ陸上選手、オリンピック3大会出場

7 **フェアプレイ大賞に「笑顔と涙の握手」(森川宝さん)が選ばれました!!**

8 **他にもみんなに伝えたい話がいっぱい**
「キーパー、ナイス!!」(江本貴代さん)
「自他共栄」(藤本聡さん)
※作品は今後のフェアプレイニュースに掲載します

9 **次回のフェアプレイ大賞には、みんなも応募してね!**

パラリンピアン佐藤真海選手が大賞作品を見てメッセージを送ってくれました!

森川宝くん、大賞受賞おめでとうございます!
私もパラリンピックはじめ海外での大きな試合に出場してきましたが、一緒に戦ったライバルでも試合が終わったら勝敗に関係なく、一人一人ハグや握手をし、健闘をたたえ合います。
それはお互いがリスペクトし合っているからこそ。
そして試合に至るまでの様々な苦しみや熱い思いを共有できるからこそです。
スポーツには、人と人を繋ぐ力があります。
これからもフェアプレイの心をもって、「スポーツの力」を広げていきましょう。

登場人物
正々(セイセイ)くん スポーツが大好き、元気なパンダの男子。「せかま」が大好き。
堂々(ドウドウ)ちゃん スポーツが大好き、しっかり者のパンダの女子。「雷田子」が大好き。

フェアプレイニュースとスポーツニュースの紙面が日本体育協会のキャンペーンホームページで見られます。
[フェアプレイキャンペーンTOPページ] ▶ [フェアプレイニュース&スポーツニュース] で見たいニュースをみつめてね。

大きな夢に向かって、大きなワザを繰り出せ!

おお ゆめ む おお く だ

今年1月、女子の鬼塚選手(16歳)がスノーボード世界選手権史上最年少で優勝して話題となったスロープスタイル。コースに設置されたジャンプ台を飛びながら技を披露し、レールなどの障害物を華麗に滑り、ポイントを競う競技です。この大会は、小学生も大人の選手に交じて参加。「プロになりたい」「日本代表になりたい」。

そんな大きな夢に向かって繰り出す技は大人にも引けをとらず、会場には驚きの声が上がっていました。

▲レールを華麗に滑る

▲度肝をぬくジャンプを決める!

スポーツ豆知識

スキージャンプはなぜ向かい風のほうが飛べるの?

向かい風

山の斜面に沿って落ちよう飛ぶスキージャンプ。向かい風するとき、下から風を受けてスキー板や体に上向きの力が加かります。そのために滞空時間が長くなり、飛距離が伸びるのです。

フェアプレイ語録

正々(セイセイ)くん

堂々(ドウドウ)ちゃん

「誰かと戦ったというより、自分自身の中での戦い。勝った気がします。」

上村愛子(元女子モーグル日本代表)

07年から08年のワールドカップで5連勝し年間総合優勝を手にした日に言った言葉。悔いのないように全力を出し切る、その連続が結果に結びついたのである。